

農業復興イノベーション人材育成のための 脱炭素次世代農業教育研究プログラムの実践 東京農工大学大学院農学府・農学部 令和7年度研究活動報告会

日時: 令和8年1月21日(水) 13:30~14:30

富岡町役場2階正庁(対面参加)

オンライン参加 Zoom ID: 864 8313 1460

パスコード: 059750

本事業では、福島県浜通りの宮農再開地域にある富岡町と連携し、東京農工大学が有する「復興知」を活用し、福島県浜通りの宮農再開において、食用米、酒米品種、耕畜連携が期待できる飼料イネ品種などの科学的な知を活用し、脱炭素型の先進的な有機、特別栽培など次世代の農業イノベーションに関わる研究、教育プログラム、人材育成を推進するため、2018年7月より富岡町の拠点を中心に研究活動を行なっています。食用米、酒米品種、耕畜連携が期待できる飼料イネ品種などの科学的な知を活用しICTなどを取り入れたスマート有機農業などの推進による脱炭素型の作物生産技術を開発し、農業復興、農業振興を支援し、農業収入の安定化と所得の拡大、技術開発・普及等人材育成を目的としています。

富岡町において、本年度の研究活動報告会を企画いたしました。お誘い合わせの上、ご参加くださいますようお願いいたします。





13:30 開会挨拶

事業説明

東京農工大学大学院農学府 大川泰一郎

1. 農業復興のための脱炭素次世代スマート農業イノベーションに関する実践研究プログラム

13:35-13:45 水稲品種モンスター農工大1号／タカナリの後代系統の乾物生産及び窒素利用特性

渥美元哉・安達俊輔・大川泰一郎

13:45-13:55 メタン排出抑制と水稲生産性維持の両立にむけた間断灌漑条件下における経時的メタン放出プロファイル

五十嵐匡日子・堀口元氣・大川泰一郎・安達俊輔

13:55-14:05 149系統ジャポニカパネルを用いたドローン空撮によるハイスループットフェノタイプニングデータを用いたGWASの実証

齊藤匠泉・飛田結衣・堀口元氣・本田爽太郎・大川泰一郎・安達俊輔

2. 営農再開地域における脱炭素次世代農業イノベーションの実践教育国際プログラム

14:05-14:15 5年間の実践的な教育・人材育成プログラム「アクティブリサーチ」、実習活動

14:15-14:30 質疑、意見交換

閉会挨拶